

記号・アイコンの説明（鳥類）

大 大きさ   色 体色   食 食べ物   声 鳴き声   渡り区分   留 留鳥   夏 夏鳥   旅 旅鳥   冬 冬鳥

外来種区分   特 特定外来生物   外 生態系被害防止外来種   般 外来種（一般）

生息環境区分



貴重種区分

CR	絶滅危惧 IA類	A	最重要保護生物
EN	絶滅危惧 IB類	B	重要保護生物
VU	絶滅危惧 II類	C	要保護生物
NT	準絶滅危惧	D	一般保護生物
DD	情報不足		

環境省レッドデータブック   千葉県レッドデータブック

ダイサギ (サギ科)



くちばしは晩秋から初春にかけて黄色、夏は黒、足の先は夏に黒くなるのが特徴です。繁殖期である4～8月には、雑木林や竹林などにおいて、コサギやチュウサギとともに「コロニー」と呼ばれる巣を集団でつくりま

大 90cm   色 白色  
食 魚やザリガニなど   声 グワー、ゴァー  
留 C



チュウサギ (サギ科)



内陸の平地を好みます。やや乾いた場所に多く見られ、昆虫やカエルを食べます。ほかのサギの仲間よりも、くちばしはやや短く、夏は黒く、春や秋は黄色くなることが特徴です。

大 75～80cm   色 白色  
食 昆虫やカエル   声 ゴワー、グワッ  
留 NT B



コサギ (サギ科)



くちばしが黒く、足の先が黄色いのが特徴です。水の中を歩きながら、魚やザリガニなどの餌を捕まえます。繁殖期には、ほかのサギの仲間と集団で「コロニー」をつくりま

大 60～65cm   色 白色  
食 魚など   声 グワー、ゴァー  
留 C



アオサギ (サギ科)



全身灰色の大きなサギです。大きな魚はくちばしで突き刺して捕まえることもあります。他種と一緒に「コロニー」をつくるシラサギの仲間と異なり、本種だけの「単独コロニー」をつくりま

大 93cm   色 灰色  
食 魚やザリガニ   声 グワー、ゴァー  
留 C



キジ (キジ科)



日本の国鳥です。草陰にじっとしていて、見つけにくいことが多いです。気づかないで近くまで行くと、バサバサッと大きな羽音を立てて飛び立つので、びっくりするかもしれません。

大 60～80cm   色 雄は赤と緑、雌は茶色  
食 草の実や昆虫   声 ケーンケーン  
留 C



カワセミ (カワセミ科)



コバルトブルーに輝く背中とオレンジ色のお腹が特徴です。水辺の小枝や杭に止まって、じっと水面を見つめ、餌の魚を見つけると飛び込んで捕まえます。

大 17cm   色 コバルトブルーとオレンジ  
食 魚やカエル   声 ツィーッ  
留 C



オオタカ (タカ科)



里山を代表する猛禽類<sup>もうきんるい</sup>の一種です。林内のスギやマツの大木の上に枯れ枝で皿形の巣をつくりま

大 50～56cm   色 茶色と白色  
食 鳥や小型ほ乳類   声 キッキッ  
留 NT B



ミサゴ (ミサゴ科)



頭とお腹、翼の裏側が真っ白なのが特徴です。水面上を高く飛びながら魚を探し、獲物を見つけると、ホバリングでねらいを定め、水に飛び込んで捕まえます。

大 55～64cm   色 茶色と白色  
食 魚   声 ピョッピョッ  
留 NT B



チョウゲンボウ  
(ハヤブサ科)



ホバリングをひんぱんに行う小型の猛禽類です。杭や電柱などに止まっている姿もよく見かけます。崖地の横穴などに巣をつくるほか、橋脚や高層ビルに巣をつくった例もあります。

- 大 33～38cm
- 色 茶色と灰色
- 食 ネズミや昆虫など
- 声 キィキィ、ピィピィ
- 留 D

タゲリ  
(チドリ科)



ネコのような特徴のある声で鳴きます。金属光沢のある緑色の背中と、後頭部にはね上がった冠羽と呼ばれる、トサカのような羽が特徴です。

- 大 30cm
- 色 緑色と白色
- 食 昆虫やミミズなど
- 声 ミュー
- 冬 C

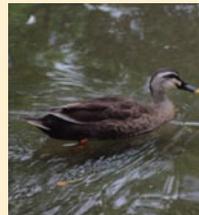
イソシギ  
(シギ科)



白いお腹と肩にかけてのランニングシャツのようなラインが特徴です。歩いているときに、よく尾を振る姿を見かけます。水面や地面をついばんで餌を採ります。

- 大 20cm
- 色 灰褐色と白色
- 食 昆虫など
- 声 チーリーリー
- 留 A

カルガモ  
(カモ科)



くちばしの先の黄色と、横顔の黒い筋が特徴のカモです。繁殖期には、親ガモの後ろをついていく子ガモを見ることができます。公園の池などでも見ることができます。

- 大 53～63cm
- 色 茶色
- 食 草の実や水草
- 声 ゲェッグエツ
- 留 C

オオバン  
(クイナ科)



全身が黒く、ずんぐりした体で、おでこからくちばしにかけての白い部分が特徴です。冬には群れをつくります。カモのように水面を泳いでいる姿をよく見かけます。

- 大 39cm
- 色 黒色と白色
- 食 水草や昆虫
- 声 クエンー、キョキョーン
- 留 C

オオヨシキリ  
(ヨシキリ科)



ヨシ原で大きな口をあけて特徴のある声で鳴きます。特に、水中からヨシが生えているような場所を好みます。複数のヨシの茎をまたぐようにコップ状の巣をつくります。

- 大 18cm
- 色 灰緑色
- 食 昆虫
- 声 ギョギョシ
- 夏 D

ホオジロ  
(ホオジロ科)



顔にある黒と白のくま取り模様が特徴で、白い頬が名前の由来です。林縁や樹木がそばにあるススキの草原を好み、林内では見られません。

- 大 17cm
- 色 茶色と白色
- 食 昆虫や草の実
- 声 チョッピーチチロ、ピピロピー
- 留 C

シジュウカラ  
(シジュウカラ科)



胸にある黒いネクタイのような模様が特徴です。様々な樹林地に生息し、市街地でも、庭木や公園の樹木でも見ることができます。木の下の枝でよく餌を採ります。

- 大 15cm
- 色 灰色と薄茶色
- 食 昆虫や草の実
- 声 ツィピー ツィピー
- 留 C

ムクドリ  
(ムクドリ科)



橙色のくちばしと、顔と腰あたりの白色が特徴です。繁殖期が終わると群れで生活し、竹やぶや街路樹などに数千～数万羽の集団でねぐらをつくります。

- 大 24cm
- 色 茶色
- 食 昆虫や木の实
- 声 ギャーギャー
- 留 D

ツバメ  
(ツバメ科)



春先に人家の軒先に巣をつくる、なじみ深い鳥です。秋の渡りの前には、ヨシ原に集団でねぐらをつくり、数千～数万羽の個体が集まります。

- 大 17cm
- 色 黒色と白色
- 食 昆虫
- 声 チュビチュビチュビ チュルルル
- 夏 D